

令和7年11月21日

東松山市議会議長 藤倉 憲 様

原州市派遣議員団団長 福田 武彦

原州市派遣議員団視察報告書

- 1 期 間 令和7年10月24日（金）～26日（日）
- 2 場 所 大韓民国江原道原州市
- 3 派遣議員 団 長：福田 武彦
副団長：蓮見 節
団 員：坂本 俊夫、高田 正人
随 行：小野澤 俊夫（議会事務局局次長）

【原州市の状況】

- ・市政施行 1955年
- ・面積 868.29平方キロメートル
- ・人口 362,881人（2025年9月末現在）※原州市ホームページより
- ・世帯数 175,582世帯（同上）
- ・中学校 24校（2024年4月現在）
- ・小学校 51校（同上）
- ・幼稚園 72園（同上）
- ・ソウル市から高速バスで約1時間40分、韓国のほぼ中央に位置しソウル市から東へ約100kmのところでありソウル市のベッドタウン、工業都市として発展している。
市の東に国立公園雉岳山（チアクサン）が連なり、2025年にケーブルカーの運行を開始した小金山（ソグムサン）グランドバレーやスキー、ゴルフ場など観光面でも年間を通じて多くの人々が訪問している。
市のスローガン 「Healthy Wonju」（健全な精神、健全な肉体、健全な社会の意味）

【原州市議会】

- ・定数 24人（2022年6月改選）
- ・常任委員会として、議会運営委員会、行政福祉委員会、産業経済委員会、文化都市委員会を設置。
- ・議会事務局に7つのチーム（係）を設けて運営、市長部局との職員の行き来はない。

【視察目的】

東松山市と原州市は、国際ウォーキング大会を通じて両市の友好親善交流を発展させ国際交流を推進し、世界平和の実現・健康な長寿社会の実現・両市民の友情を深めウォーキングの輪を広く世界に広げることを目的に、2007年11月1日に友好都市協定を締結した。

この協定に基づき、両市議会もウォーキングを通じた交流を一層促進するために2009年10月23日に交流協定を締結し、両市で開催されるウォーキング大会に積極的に参加し、互いの国際交流を推進することとした。

当派遣議員団は、この交流協定に基づき「第31回原州国際ツデーウォーク」に参加し、ウォーキングを通じた国際交流の推進と原州市議会との交流を一層深め、両市・両市議会の友好親善を図り広く世界平和の実現に努めることを目的として原州市及び原州国際ツデーウォークを視察するものである。

【概 要】

◆10月24日（金）

1) ウォン・ガンス原州市長を表敬訪問

表敬挨拶、記念品を手渡し、両市の近況について意見交換を行った。

2) チョ・ヨンギ原州市議会議長を表敬訪問

表敬挨拶、記念品を手渡し、両市の近況について意見交換を行った。また同席の各常任委員長と意見交換を行い、議場及び委員会室等の施設見学を行った。

3) 2025 原州餃子（マンドゥ）祭りに参加

江原監営前周辺の旧市街エリアの商業振興を目的に、今年で3回目を数えるイベントに参加。原州市議会の案内で屋台販売の餃子を数種類試食し、開会式を観覧。陽が落ちる中、屋外特設ステージでは、開会に際し原州市長、原州市議会議長、江原道知事、商工会長等の関係者の挨拶により、光と音の演出を伴い盛大に開会を宣言した。

◆10月25日（土）

1) 原州国際ツデーウォークに参加

原州国際ツデーウォークは、原州ダンシング公演場をスタート、ゴール地点として1日目は市の南西方向、2日目は北東方向にコースが設定されており、距離は30キロ、20キロ、10キロ、5キロとなっている。原州市では、ウォーキングを生活習慣病の予防と健康で明るい社会生活の基本として捉え、市をあげて推進している。

10km・5kmコース出発式では、原州市長や韓国ウォーキング協会会長の挨拶があ

り、当派遣議員団からは福田副議長が原州市議会議員、大会役員等とともに紹介された。その後、原州市議会事務局の案内により中央会場内を視察しコースを歩いた。

大会規模は日本スリーデーマーチには及ばないものの、中央会場は全天候舗装が施され、様々な協力団体や企業ブースの出展もあり、本市のスリーデーマーチと一部似た雰囲気ではあるが、飲食物の販売は少なく、参加者や関係者以外の来場は少ない。参加者は若い人や海外からのウォーカーも多く、軽快な音楽に合わせてストレッチ体操を行うなど、明るく健康的な雰囲気のウォーキング大会であった。

2) 原州市観光行政施設視察

① 韓紙(ハンジ)テーマパーク

韓紙は、和紙と同じ流しすきの技法によって作られる紙で、原州市は古くから韓紙の生産が盛んな都市としている。韓紙テーマパークは、2010年8月にオープンし、2階建ての館内には韓紙に関する資料を集めた韓紙歴史室をはじめ、企画展示室、工芸体験室、セミナー室、カフェなどがあり、今回の視察では、1階の韓紙歴史室をガイドにより案内され、紙の誕生や原州韓紙の製造工程を展示されたパネルや資料などを示して説明を受けた。

② 小金山(ソグムサン) グランドバレー

良峴(カンヒョン)観光地の小金山グランドバレーは原州市が指定管理で運営している観光施設で、小金山を一周できる遊歩道が整備され、途中には長さ200メートルと404メートルの山岳歩道橋の中では韓国で最も長い吊り橋やスカイタワーなどがあり、2025年2月にはケーブルカーが完成し、原州市の重要な観光資源となっている。

ケーブルカーの山麓駅には大規模な駐車場が整備されているが、紅葉が始まった観光シーズンということもあり、視察日は大型バスが駐車場に入れない状況で、ケーブルカー乗り場には長蛇の列ができていた。ケーブルカーは10人乗りで、山頂までの約1kmを6分間で移動することができる。

また、ケーブルカーの山麓駅の建物内には、メディアアートセンターが整備され、原州市の四季の風景を室内の壁全面に投影し、原州市の自然や魅力をPRしている。

③ ミュージアムSAN (Space Art Nature)

建築家の安藤忠雄が設計した山の中にある美術館で、広大な敷地の中に自然と調和するように、作品や建物が配置されている。2013年の5月にオープンし、2023年には、開館10周年を記念して安藤忠雄による2つ目の瞑想館「The Space of Light」が作られるなど、今後も施設の充実が図られる。視察時間内では施設を回りきることはできず、自然の中にある作品は季節によって見え方が異なることから再度

訪れたいと思える施設であった。

3) 国際親交の夕べに出席

前年まで大会前夜に開催されていたウェルカムパーティーが大会初日の夜に開催された。日本をはじめ世界各地のウォーカーが出席しており、アトラクションや参加各国のウォーカーの紹介など、ツーデーウォークの参加を盛大に歓迎する雰囲気を感じられた。また、原州国際ツーデーウォークに長年貢献があった団体、個人の表彰なども行われた。日本からは SUN-IN 未来ウォークを開催している鳥取県倉吉市 広田一恭市長が、ウォン・ガンス原州市長と記念品の交換を行い、大会開催の祝辞を伝えた。

◆ 10月26日（日）

- ・金浦国際空港から帰路について。

【総 評】

2009年10月に締結した両市議会の相互交流協定を基に議会で協議の上で派遣を決定し、第31回の原州国際ツーデーウォークに参加。両市議会の交流を推進し友情を深め交流協定の目的である世界平和の実現に努めた。

日本と大韓民国は身近な隣国であり、東松山市と原州市の友好親善関係は、共通する国際ウォーキング大会の開催地であることに端を発しているが、他にも文化・芸術・スポーツなど幅広い分野で交流が推進されることが大事であり、交流を通じて日本と異なった大韓民国の議会や文化等を直接感じ取ることで見聞を深め、多分野において双方の理解を向上させることが重要である。

引き続き本事業の目的を達成すべく、議会で協議し事業の最適化等を図りながら両市議会の交流ひいては両市の友好関係が更に深まることを期待する。

原州市庁舎



市長訪問待機室



原州市長 表敬訪問



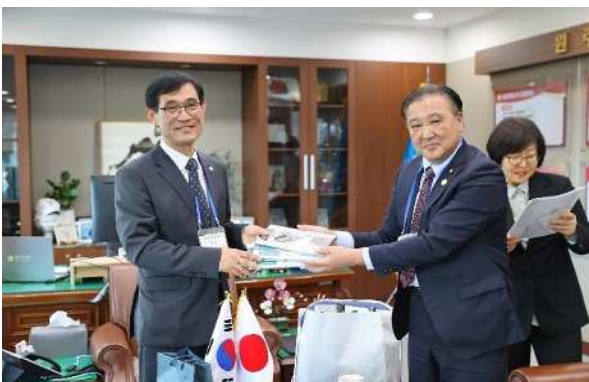
原州市議会棟



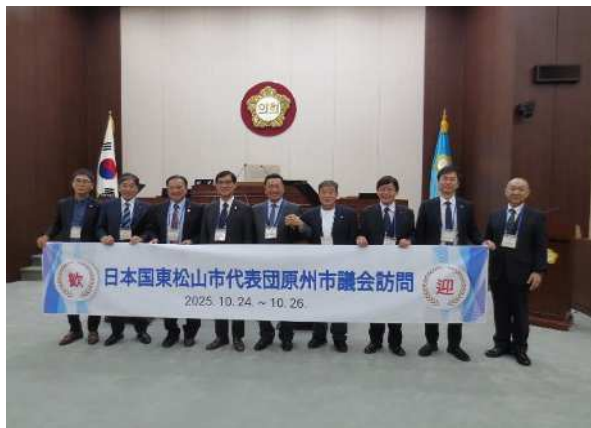
議会棟 エントランス



原州市議会議長 表敬訪問



議場



委員会室



餃子(マンドゥ)フェスティバル会場



餃子(マンドゥ)フェスティバル開会式



原州国際ソーデーウォーク出発式会場



音楽に合わせたストレッチ運動



原州国際ツデーウォーク出発式



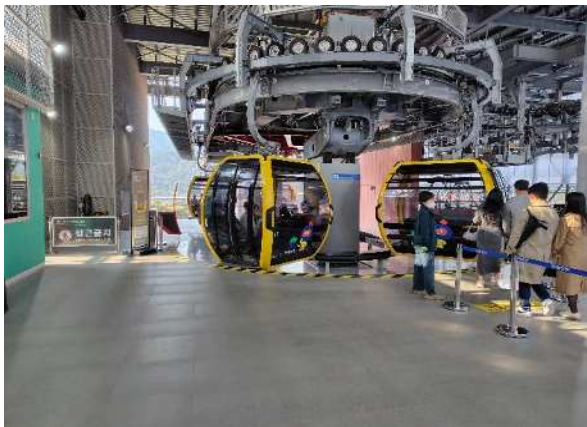
ツデーウォーク



韓紙(ハジ)テーマパーク



小金山グランドバレー ケーブルカー施設



ソグム山グランドバレー



ミュージアムSAN



国際交流のタベ



第 3 1 回 原州国際ツデーウォーク

1. 概要

- ・ 期間：2025年10月25日（土）～26日（日）
- ・ 場所：原州市周辺、主会場はダンシングスタジアム
- ・ ウォーキングコース：
 - 10月25日（土）：武一洞と興邑面へ向かう、5km、10km、20km、30km
 - 10月26日（日）：方谷館洞と行口洞へ向かう、5km、10km、20km、30km
- ・ 主催：原州市、(財)大韓ウォーキング連盟、国民健康保険公団、韓国観光公社
- ・ 後援：文化体育観光部、江原道原州教育支援庁
- ・ 予想参加国：26か国
- ・ 予想参加者数：約20,000人

2. 各コースの出発時間

- ・ 30km：午前 9時
- ・ 20km：午前10時
- ・ 10km：午前11時
- ・ 5km：午前11時

3. イベントスケジュール

日時		メインプログラム	会場
10月24日 (金)	11:00～ 21:00	2025原州餃子祭り	中央洞伝統市場及 び文化の街
10月25日 (土)	9:00	30kmコーススタート	主会場
	10:00	20kmコーススタート	
	10:30	原州開催30周年記念碑除幕式	
	11:00	10kmコース・5kmコーススタート	
	13:00～ 16:00	完歩祝賀公演	ヴィラ デ アモール
	18:00～ 20:00	国際親交の夕べ	
10月26日 (日)	9:00～ 11:00	前日と同様に各コーススタート	主会場
	13:00～ 16:00	完歩祝賀公演	

4. 東松山市議会訪問団のスケジュール

日付	時間	プログラム	備考
【1日目】 10.24(金)	8:40	羽田空港出発	便名:NH861
	11:05	金浦空港到着	
	12:00~	原州市へ移動	途中 SA で休憩、軽食
	14:50	原州市到着	
	15:00~	原州市長表敬訪問	原州市庁舎 市長室
	15:40~	原州市議会議長 表敬訪問	原州市議会 議長室
	17:30~19:00	原州餃子祭り見学	開会式観覧
	19:30~21:00	歓迎夕食会	
【2日目】 10.25(土)	10:30~12:00	2Day Walk に参加	ダンシングスタジアム
	12:00~	韓紙テーマパーク見学	
	12:30~13:30	昼食	
	14:00~15:30	小金山グランドバレー 視察	ケーブルカー乗車、メディア アートセンター見学
	16:00~17:30	ミュージアム SAN 視察	
	18:00~20:00	国際親交の夕べ参加	ヴィラ デ アモール
【3日目】 10.26(日)	7:40~	原州市を出発・移動	
	10:30	金浦空港到着	
	12:25	金浦空港出発	便名:NH864
	14:25	羽田空港到着	

大韓民国・原州市の概要

1 原州市の状況

項目	原州市	東松山市
市政施行	1955年	1954年(S29年)
面積	868.29 km ²	65.35km ²
人口	362,881人 (2025.9月末現在)	91,262人 (2025.10.1現在)
世帯数	175,582世帯	44,235世帯
市の木	イチヨウ	松
市の花	バラ	ぼたん
市の鳥	キジ	—
大学	5校	1校
高校	15校	3校
中学校	24校	6校
小学校	51校	11校
幼稚園	72園	8園

※学校等の数は 2024.4.1 現在

2 その他の情報

- (1) ソウル市から高速バスで1時間40分、地理的には韓国のほぼ中央に位置し、ソウル市から東へ約100kmのところであり、ソウル市のベッドタウン、工業都市として発展している。
市の東に国立公園チアク山が連なり、スキーやゴルフ場など観光面でも年間を通じて、多くの人々が訪問している。
- (2) 市の主な産業は、医療機器の製造で、市内に5地区の工業団地がある。
- (3) 韓国紙の製造は地場産業にもなっている。
- (4) 市内には、延世（ヨンセ）大学医学部があり医療機器を生産する企業が多くある。
- (5) 市のスローガン「Healthy Wonju」
(健全な精神、健康な肉体、健康な社会の意味)
- (6) 日本の友好都市 岐阜県美濃市、埼玉県東松山市

3 原州市議会

(1) 市議会議員 24人（2022.6月改選）

(2) 議会方針

- ・ 疎通と和合
- ・ 議員の専門性の向上
- ・ 議会の競争力の強化

(3) 議員構成

8選挙区から21人、比例代表3人の合計24人構成

(4) 議長・副議長

議長・副議長各1人を本会議において無記名投票で選出、任期は2年

(5) 常任委員会

執行機関の部署別業務所管により4委員会で構成

議会運営委員会・行政福祉委員会・産業経済委員会・文化都市委員会

(6) 議決権

条例の制定及び改訂・廃止、予算の審議・確定、決算の承認、重要財産の取得及び処分承認、請願の受理、その他法令によりその権限に属する事項を議決する

(7) 行政監査権

- ・ 市政の全般的な事項に対して実施する行政事務監査
- ・ 本会議議決により市政業務の中で特定事案を調査する行政事務調査
- ・ 団体長及び補助機関の出席答弁、書類提出、報告などの要求を通じて行政を監視

(8) 自立権

執行機関などからいかなる関与や干渉を受けず、自らを規律する権限で議会規則の制定、議会の開閉及び会期の決定、秩序の維持、議員の懲戒及び資格審査、議長副議長不信任、内部組織などの権限を遂行する

4 原州市との友好都市交流事業の経緯

平成19年10月26日に、第30回日本スリーデーマーチ記念大会の開催及びIML国際マーチングリーグ結成20周年を祝して、韓国国際ウォーキング大会の開催地である原州市において、ウォーキング記念シンポジウムが開催された。

原州市の金起烈（キム・ギョル）市長から日本スリーデーマーチの開催地である東松山市の坂本市長に、ぜひ原州市を訪問し、ご挨拶をいただきたいとの招待を受け、坂本市長が25日、26日の2日間の日程で原州市を表敬訪問した。原州市での日程は、10月25日にキム市長を表敬訪問し、翌26日は原州市内にある延世（ヨンセ）大学講堂で、第30回日本スリーデーマーチ及びIML結成20周年記念シンポジウムが開催され、その席で坂本市長は第30回日本スリーデーマーチへの参加のお願い、IML結成20周年記念のお祝いと歩くことの重要性について述べた。

原州市は、現在の車社会において歩くことが、生活習慣病の予防だけでなく、健康で明るい社会生活を営むための基本であると考え、市をあげてウォーキングを推奨しているため、WHOの健康都市にもなっている。このような観点から、ウォーキングに対する考え方が東松山市と同じであり、ウォーキングを通じた両市の国際交流を推進し、あわせて友好を発展させることは、世界平和に寄与するとの考えに基づき、平成19年（2007年）11月1日に原州市のキム市長が当市を訪問したのを機に、両市の友好親善交流を推進するための協定を締結したものである。

この友好都市協定書に基づき、東松山市議会と原州市議会は平成21年（2009年）10月23日に「両市で開催されるウォーキング大会に積極的に参加し、互いの国際交流を推進し、両市議会の友情を深め、広く世界平和の実現に努める」ため、交流協定を締結した。そして、平成21年11月2日、原州市議会議員（元敬黙議長ほか）が当市を表敬訪問した際、東松山市ウォーキングセンター前庭に原州市の木である「イチョウ」の記念植樹を行ったものである。

5 原州市の韓国国際ウォーキング大会

原州市で開催されている「韓国国際ウォーキング大会」は、毎年10月下旬の土・日に開催される「ツデーウォーク」である。

2025年は第31回目の大会となる。昨年の参加者は2日間で10,473人となり、韓国国内から9,393人、国外からは1,080人の参加があった。コースは5km、10km、20km、30kmの各コースがある。コースは田園地帯や丘陵地帯を歩くコースで比企丘陵地域に大変よく似ており、季節は東松山市より秋の到来が少し早く、紅葉の美しい風景を楽しむことができる。

原州市はウォーキングを生活習慣病の予防と、健康で明るい社会生活の基本として捉え、市をあげてウォーキングを推進している。当初、このウォーキング大会を開催するにあたり、東松山市で開催している「日本スリーデーマーチ」を視察するため、市職員や市議会議員を派遣したそうである。大会会場は、市内にアーチ型の4,000人程を収容できる施設があり、総工費約8億円をかけて建設されたものである。

原州市は、近隣の国々との友好交流にも力を入れており、中国、山東省煙台市、安徽省合肥市との姉妹都市交流やアメリカ、バージニア州ロアノーク市、カナダのアルバータ州エドモントン市とも姉妹都市の提携を行っている。また、日本では千葉県市川市のほか岐阜県美濃市とは和紙と韓紙友好交流に関する協定を締結するなど海外との友好親善にも努めている。

原州市で開催されている「韓国国際ウォーキング大会」は、東松山市のスリーデーマーチが手本となっており、ウォーキングに対する考え方も当市と同様であることから、このウォーキングを通じた友好交流を推進し、両市の友好親善と国際平和のために、友好都市交流の協定締結に至ったものである。

交流協定書

日本スリーデーマーチを開催する日本国埼玉県東松山市と韓国国際ウォーキング大会を開催する大韓民国江原道原州市とは、国際ウォーキング大会を通じて、両市の友好親善交流を発展させるため、2007年11月1日に友好都市協定書を締結致しました。これに基づき、両市議会もウォーキングを通じた交流を今後一層促進するために、下記の内容のとおり協定を締結する。

記

両市議会は、両市で開催されるウォーキング大会に積極的に参加し、互いの国際交流を推進し、両市議会の友情を深め、広く世界平和の実現に努めるものとする。

2009年 10月 23日

日本国 埼玉県
東松山市議会

議長 榎本 栄

大韓民国 江原道
原州市議会

議長 元敬黙

榎本 栄

元敬黙

協 定 書

韓国国際ウォーキングフェスティバルを開催する大韓民国江原道原州市と、日本スリーデーマーチを開催する日本国埼玉県東松山市とは、国際ウォーキング大会を通じて、両市の友好親善交流を発展させ、ウォーキングを通じた交流を今後一層促進するために、協定を締結する。

1. 両市は、国際ウォーキングの掲げる「Walking bring us together. 《ウォーキングは世界を結ぶ》」に共鳴し、両市で開催される大会に参加する世界各国からのウォーカーを歓迎して、国際交流を推進し、世界平和の実現に努める。
2. 両市は、それぞれの国際ウォーキング大会を通じて、人類の普遍的な目標である健康な長寿社会を実現するために努める。
3. 両市は、ウォーキングと国際文化交流を通じて、両市民の友情を深め、ウォーキングの輪を自国内はもとより、広く世界に拡げること努める。

2007年11月1日

日本国埼玉県東松山市

大韓民国江原道原州市

市長 坂本 祐之輔

市長 金 起烈

坂本祐之輔

金起烈